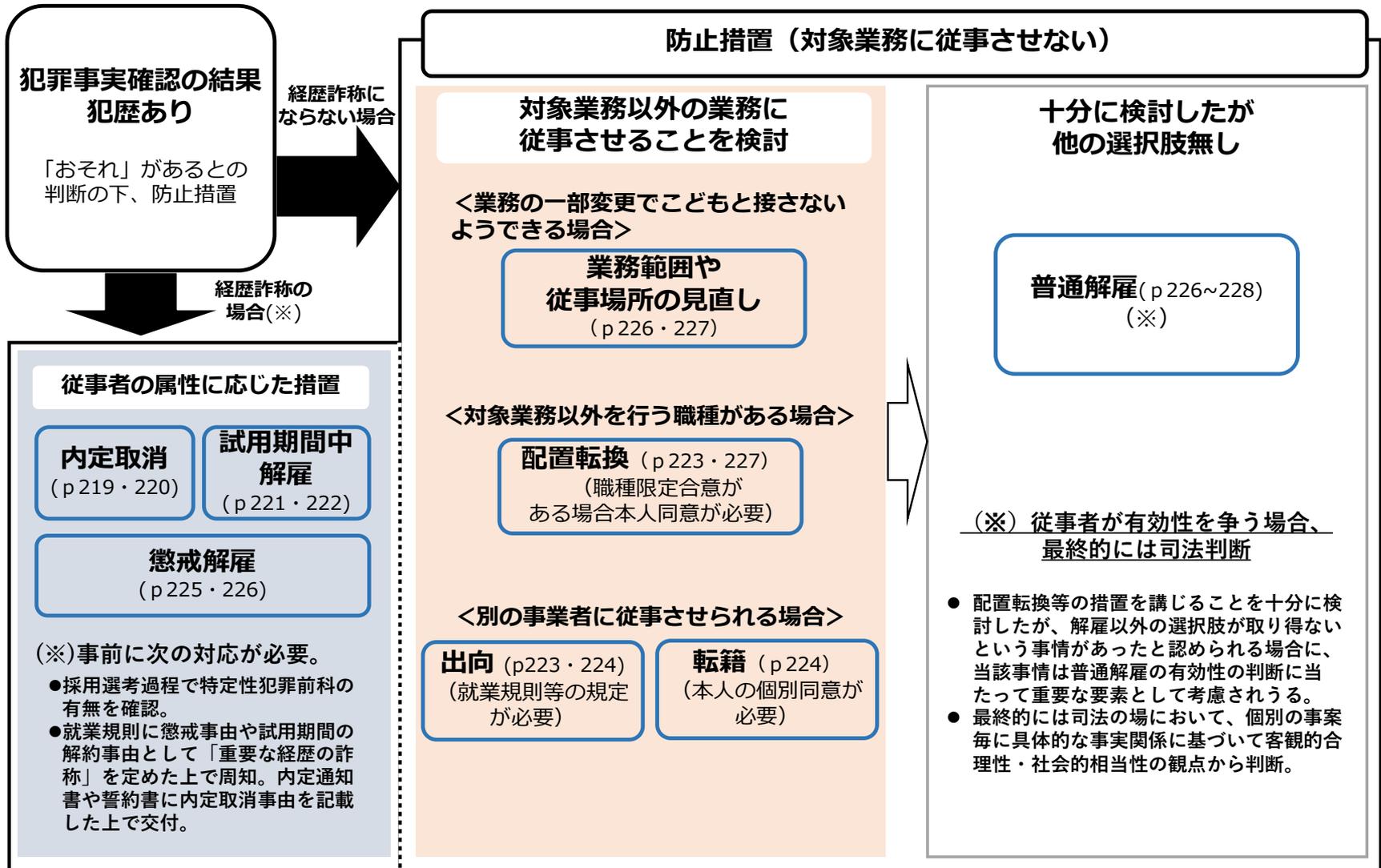


## 2. 特定性犯罪前科があった場合（おそれ①）



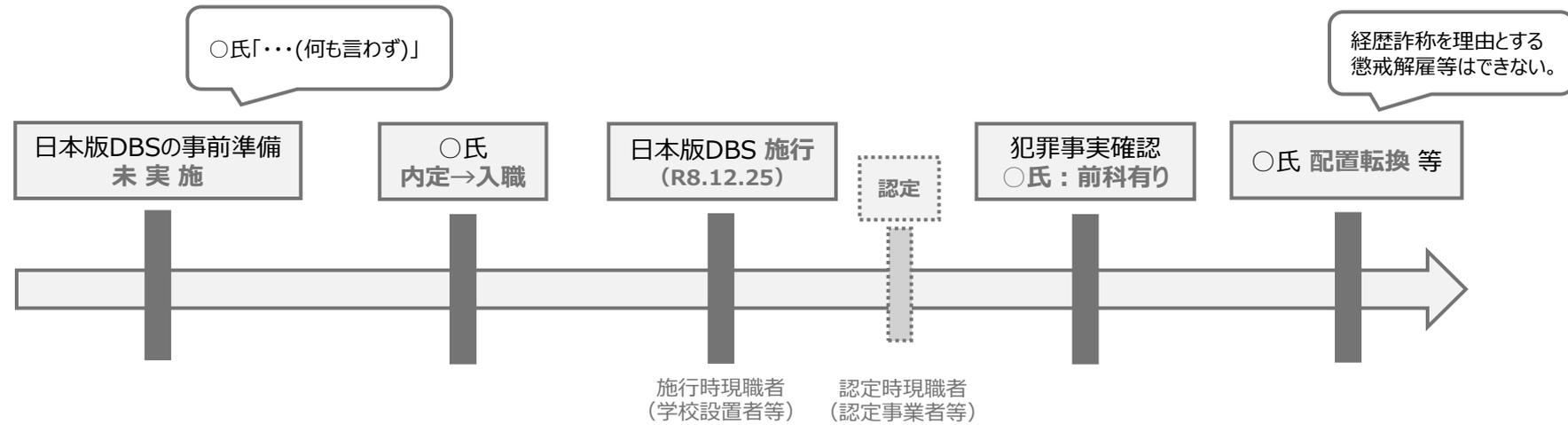
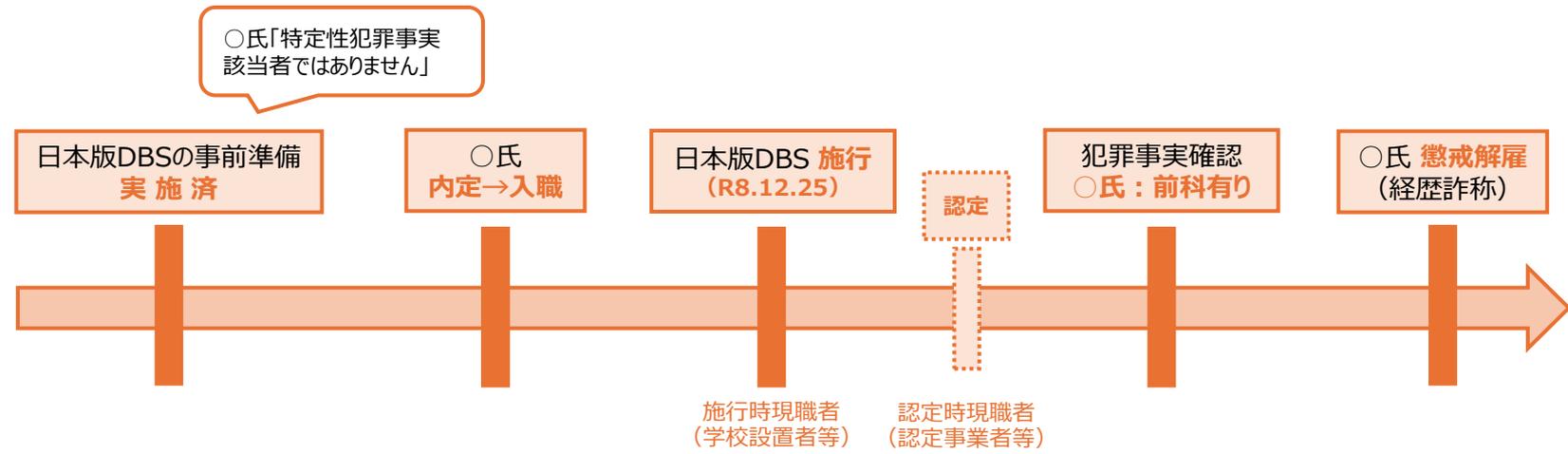
●上掲の措置を講じるまでに一定期間を要する場合、暫定的な対応として、自宅待機命令による自宅待機等により対象業務に従事させないことが必要。(p228)

# 2. 特定性犯罪前科があった場合（おそれ①）

[施行時・認定時現職者が特定性犯罪事実該当者であった場合]

**\* 日本版DBSの事前準備**

- ・ 就業規則の懲戒事由に「重要な経歴の詐称」を規定
- ・ 採用募集要項の採用条件に、特定性犯罪前科がないこと等を明示
- ・ 誓約書等を通して、特定性犯罪前科の有無等を書面等で確認



## 2. 特定性犯罪前科があった場合（おそれ①）

### 【新規採用者が特定性犯罪事実該当者であった場合】

\* 日本版DBS施行後/認定後を想定

#### \* 日本版DBSの事前準備

- 就業規則の懲戒事由に「重要な経歴の詐称」を規定
- 採用募集要項の採用条件に、特定性犯罪前科がないこと等を明示
- 誓約書等を通して、特定性犯罪前科の有無等を書面等で確認

